

イベント開催報告

2025年9月5日（金）に教育開発支援機構 教育開発・学習支援センターと学務部・教務部・総長室付教学企画室が主催し、第27回FD・SDワークショップ/教育支援研修として、「変革期における新たな大学教育の可能性」をオンライン(ハイフレックス)にて開催しました。

第一部は教職員を対象とし、千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム（千代田区キャンパスコンソ）共催でオンラインによる特別講演が実施され、多くの先生方にもご参加いただきました。

第二部は本学職員を対象に、市ヶ谷キャンパスにおいて対面を中心とした講演が実施され、多様な部局の職員が参加しました。

<参加者数：169名（事務職員 93名／教員 62名／その他 2名／他大学教職員 12名）>

イベント内容

第一部の特別講演では、「教職員における生成AI入門」と題して、森木銀河氏（元九州大学IR室学術推進専門員・元東京都市大学職員）にご講演いただきました。本講演では、教職員が生成AIを効果的に活用することの重要性や、AIを常に同席させる判断力と、最終的に人が介し責任を持つ必要性が示されました。シラバス作成やプログラミング支援、思考の壁打ちといった活用事例が紹介された一方で、情報漏洩や著作権侵害、ハルシネーションといったリスクへの適切な対処と、生成物の検証の必要性も議論されました。変化の時代における大学教育と運営に生成AIをどう生かすかということについて、深く考える機会となりました。

第二部は「変革期における大学職員の役割とマインドセット」をテーマにした、総長室付教学企画室の平山喜雄部長による講演でした。少子化や社会の質保証要求により、大学は継続的な改革が必須であり、職員の役割は「事務」から、教員と対等に運営に参画する「教職協働」の担い手へと変化していることが示されました。成功事例も紹介され、職員には自ら課題を設定・解決できる能力（提案力、チームワーク力）と、「向学心」「変化を受け入れる姿勢」「決断力とバランス感覚」といったマインドが求められていることが共有されました。

参加者アンケートより

◆ 第一部「教職員における生成AI入門」

- ・ 今後避けては通れないテーマを取り上げていただき、ありがとうございました。どれほど生成AIが発達しても、最終的には「人」の判断が不可欠だという点がとても印象に残りました。生成AIを上手に活用しながら、日常業務をより効率的に進めていきたいと思えます。
- ・ 生成AIの体系的な知識や活用事例について分かりやすく学べて、大変勉強になりました。AIは「魔法の道具」のようなイメージを持っていましたが、実際は使用する人間のリテラシーに大きく左右されるもので、現時点のAIは人間と並走する道具のように感じました。また、AIが人間の持っているバイアスを再生産しているというお話に関して、再生産されていることにも無意識であったため、危険な面も改めて認識しました。
- ・ 指示（プロンプト）をいかに上手く設計、最適化できるかが、ほしい回答を得るために必要な力であることがわかりました。一方で、生成AIが出してきた答えが本当に正しい内容なのか（それっぽく嘘を付く）、それを判断するための専門性が重要であり、便利だけを追求し、自身の学習を怠ってはいけないことも改めて感じました。
- ・ 今回の生成AI研修を通じて、これまで業務の一部で活用してきた生成AIを改めて正しく理解し、今後さらに適切に活用していく必要性を強く感じた。生成AIは非常に便利なツールである一方で、活用の場面や質問内容に応じた専門知識、そして最終的に人が取りまとめる判断力が不可欠であることを再認識した。また、生成AIを活用するには、個人情報や著作権といった法的観点に十分注意する必要があることを学んだ。

◆ 第二部「変革期における大学職員の役割とマインドセット」

- ・ 大学を取り巻く社会や大学が置かれた環境について、歴史を基に説明いただいたことで、改めて私たちが置かれている現状について理解を深めることができた。特に、職員業務のうち重要な決定に関わる内容については特に教職協働が大切である点、少子化に伴う全国の学生数減少に伴う、学生の質向上に対する本学としての取り組み検討については、自分自身に関わる内容として、特に強く印象づけられた。
- ・ 大学の将来に不安を感じていますが、多くの変動を経験してきた実体験談を踏まえた講演を聞けて、状況が変わってもその変化についていけるような柔軟性が必要だと改めて感じました。
- ・ これまでの大学の動きを学ぶとともに、これからはさらなる変革期が到来することが目に見えている中で、様々な経験をされてきた講演者の実例も交えながらお話をお聞きすることができ、大変勉強になった。真の教職協働を実現するために必要なメンタリティーや考え方（教員との接し方）について、お聞きできたことが良かった。



第27回
法政大学 FD・SDワークショップ

変革期における
新たな大学教育の可能性

開催日時
2025.9.5(金) 13:00~16:00

開催方法
オンライン(ハイフレックス)

対象
法政大学教職員、千代田区キャンパスコンソ教職員

第一部 特別講演「教職員における生成AI入門」

生成AIの急速な技術進化により、多くの大学が生成AIの利用に関するガイドラインを設けています。本学も「生成AIツールに対する基本的な考え方を公開」しましたが、学生や教職員に限らず大学職員においても教育サービスの質向上を目指すための生成AIの活用が求められています。本研修では、教育とAIの融合に際する研究・実用で注目される数々の事例を共有し、教職員における最新のAI活用に関する動向を把握し、現場に即した具体的な活用事例や可能性について学びます。加えて、情報セキュリティ、著作権や個人情報保護の観点などにも留意点について取り上げ、実践に即した活用方法を考えてみます。

第二部 教育支援研修(本学職員対象)

「変革期における大学職員の役割とマインドセット」

平山 喜雄 (総長室付教学企画室 部長)

15:40~15:55 質疑応答

15:55~16:00 講師・開会挨拶
教育支援統括本部長・学務部長 田中 一平

お問い合わせ 法政大学教育開発支援機構 教育開発・学習支援センター(事務局・学務部学務課)
TEL:03-3264-4268 E-mail:koyoku@hosei.ac.jp

法政大学
Hosei University

参加申し込み方法

以下のQRコード、またはURLにアクセスし、指定の申込フォームにてお申し込みください。

<https://short.hosei.ac.jp/tk52>

申込締切 8月31日(日)